



平成21年3月期 第1四半期決算短信

平成20年7月30日

上場会社名 トソー株式会社
コード番号 5956

上場取引所 東京証券取引所 第2部
URL <http://www.toso.co.jp>

代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名) 大槻 保人
問合せ先責任者 (役職名)経 理 部 長 (氏名) 森兼 康博
四半期報告書提出予定日 平成20年8月12日

TEL 03-3552-1215

(百万円未満切捨て)

1. 平成21年3月期第1四半期の連結業績 (平成20年4月1日～平成20年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第1四半期	4,712	—	△305	—	△301	—	△340	—
20年3月期第1四半期	4,927	△0.6	△175	—	△174	—	△338	—

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
21年3月期第1四半期	—	△28.88	—	—
20年3月期第1四半期	—	△28.70	—	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%		円 銭	
21年3月期第1四半期	18,715		8,678		46.2		733.65	
20年3月期	19,652		9,012		45.6		761.75	
(参考) 自己資本	21年3月期第1四半期		8,639百万円		20年3月期		8,971百万円	

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
20年3月期	—	3.00	—	3.00	6.00
21年3月期	—	—	—	—	—
21年3月期(予想)	—	3.00	—	3.00	6.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 : 無

3. 平成21年3月期の連結業績予想 (平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	
第2四半期連結累計期間	10,400	0.5	△450	—	△480	—	△550	—	△46.69	
通期	22,300	2.4	300	39.3	300	209.1	150	—	12.73	

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 : 無

4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
[(注) 詳細は、4 ページ【定性的情報・財務諸表等】 4. その他をご覧ください。]
- (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)
- ① 会計基準等の改正に伴う変更 : 有
- ② ①以外の変更 : 無
[(注) 詳細は、4 ページ【定性的情報・財務諸表等】 4. その他をご覧ください。]
- (4) 発行済株式数(普通株式)
- | | | | | |
|----------------------|-------------|-------------|-------------|-------------|
| ① 期末発行済株式数(自己株式を含む) | | | | |
| | 21年3月期第1四半期 | 11,897,600株 | 20年3月期 | 11,897,600株 |
| ② 期末自己株式数 | | | | |
| | 21年3月期第1四半期 | 121,154株 | 20年3月期 | 120,380株 |
| ③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) | | | | |
| | 21年3月期第1四半期 | 11,776,908株 | 20年3月期第1四半期 | 11,781,526株 |

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- (1) 本資料に記載されている業績見通し等の将来性に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。
- (2) 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

・ 定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期における日本経済は、企業収益の減少や個人消費に足踏みが見られるほか、株式・為替市場の変動や原油価格、鋼材価格の動向等にも留意が必要な状況となっております。

当社グループと関係の深い建設業界におきましては、昨年6月施行の改正建築基準法の影響による新設住宅着工戸数の大幅な減少は持ち直しつつあるものの、建築コストの上昇やマンションの販売不振等が見られ、住宅建設は依然として前年実績を下回る推移となっております。

このような環境の下で、当社グループは室内装飾関連事業において、デザイン性と機能を重視した提案型製品の販売強化や、7月発売の新製品を早期に市場に浸透させる為の展示会を開催するなどの活動を行ないました。

商品別には、ブラインド類において、2月に新柄を発売したロールスクリーンや、新カテゴリー製品となるターンアップスクリーン「ビジック」、マンションなどを中心に需要が伸びている縦型ブラインド「デュアル」など近時発売した製品を中心に販売が好調に推移したほか、非住宅物件向けの販売が増加した事なども影響して増収となりました。一方、主力のカーテンレール類は昨年より減少が続いていた住宅建設の影響を受けて不振となったほか、消費マインドの低下等による店頭市場の市況悪化が大型小売業部門の売上減少要因となり、室内装飾関連事業全体の売上高は前年同期を下回る結果となりました。

なお、近時の鋼材をはじめとした各種原材料価格の大幅な高騰は、企業努力では吸収しきれない厳しい状況になっており、7月よりカーテンレール、ロールスクリーン等の製品価格改定を行いました。

インテリア雑貨事業では、不採算店舗の撤退や、昨年より進めてきた取扱商品の見直し等による収益回復を目指しました。新製品の売上効果により増収基調となった店舗があるものの、全体的な売上減少の歯止めには至らず、当第1四半期も減収となりました。

その他事業では、ステッキを中心とした介護用品の販売や当社グループ内を中心とした物流受託業務の売上が好調に推移し、増収となりました。

以上の結果、当第1四半期の売上高は47億1千2百万円（前年同期比4.4%減少）となりました。営業利益は売上高の減少や粗利率の高い商品の販売が不振となったことなどにより、3億5百万円の損失（前年同期は1億7千5百万円の損失）、経常利益は3億1百万円の損失（前年同期は1億7千4百万円の損失）、四半期純利益は3億4千万円の損失（前年同期は3億3千8百万円の損失）となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

(1) 財政状態の分析

(流動資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産の残高は140億9千万円で、前連結会計年度末に比べ8億5千5百万円減少しております。受取手形及び売掛金の売上債権の減少7億3千万円が主な要因であります。

(固定資産)

当第1四半期連結会計期間末における固定資産の残高は46億2千4百万円で、前連結会計年度末に比べ8千1百万円減少しております。

(流動負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債の残高は66億2千5百万円で、前連結会計年度末に比べ5億4千5百万円減少しております。支払手形及び買掛金の減少9千5百万円、未払金の減少1億6千8百万円、未払費用の減少1億2千万円が主な要因であります。

(固定負債)

当第1四半期連結会計期間末における固定負債の残高は34億1千1百万円で、前連結会計年度末に比べ5千8百万円減少しております。退職給付引当金の減少1千8百万円、役員退職慰労引当金の減少2千6百万円が主な要因であります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産の残高は86億7千8百万円で、前連結会計年度末に比べ3億3千3百万円減少しております。当期純損失により利益剰余金が4億3千7百万円減少しております。

(2) キャッシュ・フローの分析

当連結会計年度における現金及び現金同等物の期末残高は4億2千1百万円減少し26億5千3百万円と

なりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは2億9千8百万円の支出となりました。これは主に、売上債権の減少7億1千2百万円による収入がありましたものの、税金等調整前当期純損失2億9千8百万円、たな卸資産の増加4億1千1百万円、未払金の減少1億5千7百万円、未払費用の減少1億1千4百万円等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、6千7百万円の支出となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出6千8百万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、3千9百万円の支出となりました。これは主に、配当金の支払い3千5百万円によるものであります。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

平成20年5月9日に公表しました業績予想は第2四半期連結累計期間、通期とも変更はありません。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当する事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

一般債権の貸倒見積高の算定方法

当社および国内連結子会社は、当第1四半期連結会計期間末の貸倒実績率等が前連結会計年度末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度末の貸倒実績率等を使用して貸倒見積高を算定しております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

② 棚卸資産の評価基準及び評価方法

当社および国内連結子会社は、主として総平均法による原価法によっておりましたが、当第1四半期連結会計期間より、「棚卸資産の評価に関する会計基準」(企業会計基準第9号(平成18年7月5日))が適用されたことに伴い、主として総平均法による原価法(貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法)により算定しております。

これにより、営業損失、経常損失及び税金等調整前四半期純損失はそれぞれ17百万円増加しております。

③ リース取引に関する会計基準等の適用

当社および国内連結子会社は、所有権移転外ファイナンス・リース取引については、従来、賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっておりましたが、「リース取引に関する会計基準」(企業会計基準第13号(平成5年6月17日(企業会計審議会第一部会)、平成19年3月30日改正))及び「リース取引に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第16号(平成6年1月18日(日本公認会計士協会 会計制度委員会)、平成19年3月30日改正))が平成20年4月1日以後開始する連結会計年度に係る四半期連結財務諸表から適用することができることになったことに伴い、当第1四半期連結会計期間からこれらの会計基準等を適用し、通常の売買取引に係る会計処理によっております。また、所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産の減価償却の方法については、リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法を採用しております。なお、リース取引開始日が適用初年度前の所有権移転外ファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借に係る方法に準じた会計処理を引き続き採用しております。

これにより、営業損失、経常損失及び税金等調整前四半期純損失に与える影響はありません。

④ 「連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取り扱い」の適用

当第1四半期連結会計期間より、「連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の

取扱い」(実務対応報告第18号 平成18年5月17日)を適用し、連結決算上必要な修正を行っております。

これにより、営業損失、経常損失及び税金等調整前四半期純損失はそれぞれ1百万円増加しております。

5. 【四半期連結財務諸表】

(1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成20年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,683,104	3,104,605
受取手形及び売掛金	6,672,036	7,402,502
商品	534,222	487,872
製品	1,229,465	1,058,466
原材料	1,759,243	1,574,985
仕掛品	184,266	195,331
貯蔵品	318,667	332,453
繰延税金資産	118,582	280,700
その他	596,111	518,136
貸倒引当金	△4,817	△8,446
流動資産合計	14,090,883	14,946,609
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	4,689,706	4,736,762
減価償却累計額	△3,759,338	△3,764,368
建物及び構築物(純額)	930,367	972,394
機械装置及び運搬具	3,217,700	3,295,267
減価償却累計額	△2,718,258	△2,778,826
機械装置及び運搬具(純額)	499,442	516,441
工具、器具及び備品	4,112,246	4,122,595
減価償却累計額	△3,850,180	△3,844,816
工具、器具及び備品(純額)	262,066	277,779
土地	1,221,437	1,362,347
建設仮勘定	13,331	27,288
有形固定資産合計	2,926,645	3,156,251
無形固定資産	106,335	103,220
投資その他の資産		
投資有価証券	469,974	413,170
長期貸付金	1,140	1,140
繰延税金資産	591,940	557,495
その他	590,482	536,606
貸倒引当金	△61,972	△61,831
投資その他の資産合計	1,591,564	1,446,581
固定資産合計	4,624,546	4,706,054
資産合計	18,715,430	19,652,663

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成20年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,016,319	2,111,805
短期借入金	2,450,400	2,478,300
1年内返済予定の長期借入金	213,462	205,468
1年内償還予定の社債	500,000	500,000
未払金	756,315	924,575
未払費用	347,186	467,218
未払法人税等	19,317	53,968
役員賞与引当金	424	2,756
その他	322,049	426,543
流動負債合計	6,625,475	7,170,636
固定負債		
社債	1,500,000	1,500,000
長期借入金	784,800	798,600
退職給付引当金	434,528	453,221
役員退職慰労引当金	193,211	219,881
事業損失引当金	420,000	420,000
その他	79,385	78,317
固定負債合計	3,411,925	3,470,020
負債合計	10,037,401	10,640,656
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,170,000	1,170,000
資本剰余金	1,344,858	1,344,858
利益剰余金	6,048,585	6,486,575
自己株式	△35,339	△35,157
株主資本合計	8,528,105	8,966,276
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	239,769	192,900
繰延ヘッジ損益	△44,144	△181,872
為替換算調整勘定	△83,961	△5,963
評価・換算差額等合計	111,663	5,064
少数株主持分	38,259	40,665
純資産合計	8,678,028	9,012,006
負債純資産合計	18,715,430	19,652,663

(2) 【四半期連結損益計算書】

(単位：千円)

当第1四半期連結累計期間

(自平成20年4月1日

至平成20年6月30日)

売上高	4,712,158
売上原価	2,769,939
売上総利益	1,942,218
販売費及び一般管理費	
荷造運搬費	392,732
広告宣伝費	162,467
販売促進費	149,370
役員報酬	40,558
従業員給料及び手当	599,188
従業員賞与	115,104
退職給付引当金繰入額	35,870
役員退職慰労引当金繰入額	4,070
福利厚生費	141,091
減価償却費	23,583
賃借料	138,543
旅費及び交通費	117,007
研究開発費	11,529
その他	317,052
販売費及び一般管理費合計	2,248,170
営業損失(△)	△305,952
営業外収益	
受取利息	1,254
受取配当金	5,458
書籍販売収入	10,356
為替差益	15,918
その他	14,040
営業外収益合計	47,028
営業外費用	
支払利息	16,571
社債利息	5,378
売上割引	4,997
書籍販売原価	13,332
その他	2,548
営業外費用合計	42,827
経常損失(△)	△301,750
特別利益	
貸倒引当金戻入額	3,487
固定資産売却益	999
特別利益合計	4,486
特別損失	
固定資産売却損	26
固定資産除却損	1,367
特別損失合計	1,393
税金等調整前四半期純損失(△)	△298,657
法人税、住民税及び事業税	17,607
法人税等調整額	24,213
少数株主損失(△)	△306
四半期純損失(△)	△340,171

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

当第1四半期連結累計期間

(自 平成20年4月1日

至 平成20年6月30日)

営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純損失(△)	△298,657
減価償却費	105,962
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△3,487
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△2,331
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△13,186
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△26,669
受取利息及び受取配当金	△6,713
支払利息	21,949
為替差損益(△は益)	△3,779
固定資産売却益	△999
固定資産売却損	26
固定資産除却損	1,367
売上債権の増減額(△は増加)	712,827
たな卸資産の増減額(△は増加)	△411,327
仕入債務の増減額(△は減少)	△80,904
未払金の増減額(△は減少)	△157,240
未払費用の増減額(△は減少)	△114,558
その他	29,714
小計	△248,008
利息及び配当金の受取額	6,692
利息の支払額	△24,598
法人税等の支払額	△32,853
営業活動によるキャッシュ・フロー	△298,767
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△68,517
有形固定資産の売却による収入	1,172
投資有価証券の取得による支出	△1,048
貸付金の回収による収入	3,369
その他	△2,612
投資活動によるキャッシュ・フロー	△67,636
財務活動によるキャッシュ・フロー	
長期借入れによる収入	50,000
長期借入金の返済による支出	△54,286
自己株式の取得による支出	△181
配当金の支払額	△35,331
少数株主への配当金の支払額	△154
財務活動によるキャッシュ・フロー	△39,954
現金及び現金同等物に係る換算差額	△15,143
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△421,501
現金及び現金同等物の期首残高	3,074,605
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,653,104

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当する事項はありません。

(5) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

当第1四半期連結累計期間(平成20年4月1日～平成20年6月30日)

	室内装飾 関連事業 (千円)	インテリア 雑貨事業 (千円)	その他事業 (千円)	計 (千円)	消去 又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高						
(1) 外部顧客に 対する売上高	4,432,088	182,277	97,791	4,712,158	—	4,712,158
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	389,488	389,488	(389,488)	—
計	4,432,088	182,277	487,280	5,101,646	(389,488)	4,712,158
営業費用	4,742,909	205,457	460,321	5,408,689	(390,578)	5,018,110
営業利益又は営業損失(△)	△310,820	△23,180	26,958	△307,042	1,089	△305,952

(注) 1 事業の区分は、製品、商品の種類、販売市場等の類似性を考慮して決定しております。
2 各区分の主な製品・商品等

(1) 室内装飾関連事業・・・カーテンレール類、ブラインド類、間仕切類

(2) インテリア雑貨事業・・・陶磁器人形、花瓶、象嵌細工宝石箱

(3) その他事業・・・・・・プラスチックチェーン、介護用品、損害保険代理業、物流業務受託

【所在地別セグメント情報】

当第1四半期連結累計期間については、全セグメントの売上高の合計および全セグメントの資産の金額の合計に占める「本邦」の割合がいずれも90%を超えているため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

【海外売上高】

当第1四半期累計期間については、海外売上高は、連結売上高の10%未満のため、その記載を省略しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当する事項はありません。

「参考」

前四半期に係る財務諸表等

(1) (要約) 四半期連結損益計算書

科 目	前年同四半期 (平成20年3月期 第1四半期)	
	金額(千円)	百分比 (%)
売上高	4,927,835	100.0
売上原価	2,780,656	56.4
売上総利益	2,147,178	43.6
販売費及び一般管理費	2,322,762	47.2
営業損失(△)	△ 175,583	△3.6
営業外収益	45,340	1.0
営業外費用	44,097	0.9
経常損失(△)	△ 174,341	△3.5
特別利益	13,112	0.3
特別損失	2,068	0.1
税金等調整前四半期純損失(△)	△ 163,297	△3.3
法人税、住民税及び事業税	23,230	0.5
法人税等調整額	151,059	3.1
少数株主利益	534	0.0
四半期純損失(△)	△ 338,122	△6.9

(2) (要約) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

	前年同四半期 (平成20年3月期 第1四半期)
区分	金額(千円)
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純損失(△)	△ 163,297
減価償却費	107,458
貸倒引当金の増減額(減少:△)	△ 55,315
退職給付引当金の増減額(減少:△)	△ 10,890
役員退職慰労引当金の増減額(減少:△)	456
売上債権の増減額(増加:△)	1,062,974
たな卸資産の増減額(増加:△)	△ 244,590
仕入債務の増減額(減少:△)	△ 272,799
未払金の増減額(減少:△)	△ 20,532
未払費用の増減額(減少:△)	△ 136,365
法人税等の支払額	△ 406,067
その他	△ 119,251
営業活動によるキャッシュ・フロー	△ 258,220
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△ 130,702
その他	37,059
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 93,643
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増減額(減少:△)	352,009
長期借入れによる収入	100,000
長期借入金の返済による支出	△ 157,804
配当金の支払額	△ 35,345
その他	△ 817
財務活動によるキャッシュ・フロー	258,042
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 200
現金及び現金同等物の増減額(減少:△)	△ 94,020
現金及び現金同等物の期首残高	3,138,768
現金及び現金同等物の四半期期末残高	3,044,747

(3) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(平成19年4月1日～平成19年6月30日)

	室内装飾 関連事業 (千円)	インテリア 雑貨事業 (千円)	その他事業 (千円)	計 (千円)	消去 又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高						
(1) 外部顧客に 対する売上高	4,610,285	230,786	86,763	4,927,835	—	4,927,835
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	388,777	388,777	(388,777)	—
計	4,610,285	230,786	475,541	5,316,613	(388,777)	4,927,835
営業費用	4,771,010	265,529	462,812	5,499,352	(395,933)	5,103,419
営業利益又は営業損失(△)	△160,724	△34,742	12,728	△182,739	7,156	△175,583

(注) 1 事業の区分は、製品、商品の種類、販売市場等の類似性を考慮して決定しております。
2 各区分の主な製品・商品等

- (1) 室内装飾関連事業・・・カーテンレール類、ブラインド類、間仕切類
- (2) インテリア雑貨事業・・・陶磁器人形、花瓶、象嵌細工宝石箱
- (3) その他事業・・・・・・プラスチックチェーン、介護用品、損害保険代理業、物流業
務受託

【海外売上高】

前第1四半期累計期間については、海外売上高は、連結売上高の10%未満のため、その記載を省略しております。

【所在地別セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間については、全セグメントの売上高の合計および全セグメントの資産の金額の合計に占める「本邦」の割合がいずれも90%を超えているため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。